

ヴァイオリン奏者からみた 音の聴こえ方

—— 本日は、ヴァイオリニストの廣津留すみれさんにいらしていただきました。製品の試聴に移る前に、少しインタビューを。というのも、僕が個人的に気になっていたことがあって。ヴァイオリンって奏者の耳のすぐ横で鳴っていますよね。それは我々が音源で聴く音とはかなり違っていると思うのですが、実際いかがでしょう？

廣津留 私ははっきりした音が好きなので、レコーディングとかだと摩擦の音を聴いてる感じですね。かといってガリガリしているわけではないですけど（笑）。

—— しかも、左耳からモノラル的に響いてくる。

廣津留 はい。他の方との録音の場合は、右耳だけヘッドホンをして左耳は生の音を聴いています。自分の中で無意識に補正しているので、アンバランスだとは感じませんが。

—— ソロの場合はセンター定位で聴いてるわけですよね？

廣津留 ただ、ソロでちゃんと聴かせたい録音の時は弾きながらけっこう動くので、ヘッドホンが飛んでいっちゃ

いそうなおこともあるんです。

—— なんとロックな（笑）。

廣津留 なので、ちょっとでも「取れないようにしなきゃ」と思った時点でイヤホンを使うようにしています。

—— これがライヴとなると？

廣津留 タンゴのアンサンブルの時はPAを入れているので、モニター・スピーカーやイヤホンからの音を聴いています。オケの中では場合は色々な音が聴こえてくるし、周りがガンガン鳴っているときは自分の音が聴こえなくなることもありますね。だからその中から自分の音を見つける感じです。

—— 周りに合わせて、ご自身も強く弾く、というわけではないのですね。

廣津留 そこで力んじやうと通らない音になるので。聴こえたものに素直に



Profile

廣津留すみれ

大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中にNY・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マ氏との度々の共演を経て、米国を拠点に演奏活動を展開。自身の四重奏団を率いてリンカーンセンターやMoMA近代美術館にて演奏するほか、ワシントンDCのケネディセンターにて野平一郎氏と共演。The Knightsとして録音したギル・シャムとのアルバムがグラミー賞2022にノミネート。近年はソリストとしてデンマーク国立フィル日本ツアーへの出演のほか、全国でリサイタルツアーを開催。東京フィルハーモニー交響楽団など主要オーケストラとの共演をはじめ、ジャズトランペッターのクリス・ボッティとの海外公演やブエノスアイレスでのタンゴアルバム録音など、ジャンルを超えて活動中。「題名のない音楽会」「徹子の部屋」（テレビ朝日）「歌える！青春のベストソング」（NHK）などでの演奏も話題に。これまでに、辰巳明子、川崎雅夫の各氏に師事、室内楽をロナルド・コープス、ジョセフ・リンの各氏に師事。ハーバード大学卒業、ジュリアード音楽院修了。現在、国際教養大学特任准教授、第13期中央教育審議会委員。

ヴァイオリニスト 廣津留すみれ登場！

オーディオテクニカが贈る 開放型ノイズキャンセリングヘッドホン

「ATH-AL5NC」を聴く

進行・構成●今津甲 写真●松永睦

本記事にて試聴するのは、オーディオテクニカより新たに登場したヘッドホン「ATH-AL5NC」。なんでも、開放型ヘッドホンでは類を見ない、ノイズキャンセリング機能を搭載しているとのこと。この製品を試聴するにあたり、各地をまたにかけて活動するヴァイオリニスト 廣津留すみれさんが駆けつけてくれた。奏者である彼女がこのサウンドをどのように聴くのか、早速お話を伺っていきたい。

反応しすぎると、いい音は出ないんです。「今こう聴こえているから、逆にやりすぎず」くらいが丁度いい。ただ、ピアノまで小さくすると本当に聴こえなくなるんですけどね。メゾピアノ位で弾くことで、みんな聴こうとしてくれるんです。

—— 程よく音を小さめにする事で、かえってお客さんの集中力を高めるわけですね。

廣津留 はい。ずっと「私はここにいるよ！」って主張して弾くのではないんです（笑）。その方がオケも合わせてくれるので、全体としてバランスがいいですし。

—— 長くやり続けたからこそ身についたスキル、というわけですね。

廣津留 それでも、「リハの音を客席で

聴けたらな」っていつも思います。奏者によっては客席にスマホを置いて録音している方もいますけど、スマホの音と本当の音は違う。リサイタルだと調律の方に聞いたりしますね。指揮者は自分で聴きに行きますけど。

—— その一方で、オフの時はどのような聴き方をされているんですか。

廣津留 ヘッドホンばかりですね。ポストン時代は飛行機での移動が多かったんで、BOSEのノイズキャンセリングのものを使っていました。今はアッ

オーディオテクニカ ATH-AL5NC

¥39,600

〈SPEC〉【ヘッドホン部】●型式：オープンエアードイナミック型 ●ドライバー：φ53mm ●出力音圧レベル：103dB/mW ●再生周波数帯域：20～40,000Hz ●インピーダンス：52Ω【マイクロホン部（ヘッドホン）】●型式：MEMS型 ●指向性：全指向性 ●感度：-38dB(1V/Pa, at 1kHz) ●周波数帯域：50～10,000Hz 【マイクロホン部（コード）】●型式：エレクトレットコンデンサー型 ●指向性：全指向性 ●感度：-42dB(1V/Pa, at 1kHz) ●周波数帯域：100～10,000Hz 【通信仕様】●通信方式：Bluetooth標準規格 Ver.5.3準拠 ●最大RF出力：12mW EIRP ●最大通信距離：見通しの良い状態で10m以内 ●使用周波数帯域：2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz) ●変調方式：GFSK, Pi/4DQPSK, 8DPSK ●スペクトラム拡散方式：FHSS ●対応Bluetoothプロファイル：A2DP, AVRCP, HFP, HSP ●対応コーデック：LDAC, AAC, SBC ●対応コンテンツ保護：SCMS-T方式 ●伝送帯域：20～40,000Hz (LDAC 96kHzサンプリング, 990kbps時), 20～20,000Hz (44.1kHzサンプリング時) 【その他】●電源：DC3.85Vリチウムポリマー電池（内蔵式） ●充電時間：約3.5時間 ●使用可能時間：[連続通信（音楽再生時）]最大約50時間（Bluetooth、ノイズキャンセリングON時）、最大約75時間（Bluetooth、ノイズキャンセリングOFF時） ●質量：約240g ●使用温度範囲：5℃～40℃ ●付属品：充電用USBケーブル（50cm、USB Type-A/USB Type-C）、マイク内蔵リモコン付きコード（1.2m/φ3.5mm金メッキ4極ステレオミニプラグ / L型）、ポーチ ●問い合わせ先：オーディオテクニカ Tel 0120-773-417



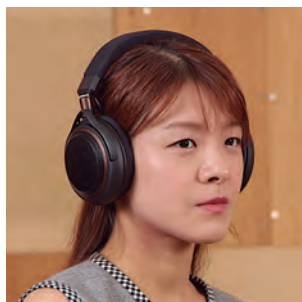
ブルのAirPods Max。それから、NTTのnwm ONEを使い分けています。家では、アンドロイド用のスピーカーが各部屋に。とにかく音楽はずっと流し続けています。シャワーを浴びているときも、聴いていますね。——音楽はどんなものを聴いているんですか？

廣津留 クラシックは、練習の時に譜面にマーキングしながら聴くぐらいなんです。家で仕事しているときは、歌詞やメイン・メロディがあんまりないローファイとかをBGMにしていますね。

——ローファイ・ヒップホップ？

廣津留 はい。あとはゲームもけっこうするので、「ポケモン」や「あつまれどうぶつの森」のサントラをローファイアレンジで流してみたり。

——低音は出てるけど、ハイは大きくカットされた音楽ですね。



装着してみると、見た目以上の開放感に加え、そのエアリーな軽さに驚かされる。圧迫感が無く長時間付けていても疲れないため、移動時にも気軽に使用することが出来る

廣津留 聴いてるようで聴いてない感じが、BGMには丁度いいんです。でないと、「あ、今のはD#の音だ」とか気になってしまうので(笑)。1人で地下鉄に乗っている時とかはタンゴが多いですけど、タンゴ歴はまだ10年ぐらいいなので、そこまで仕事せずには聴けるんです。

クリアかつ開放的 透明感と滑らかさも併せもつ

——では試聴に行ってみましょうか。

今回試聴するのは、オーディオテクニカから発売された新製品、ATH-AL5NCです。ご担当の方から聞いた話によると、これは開放型でノイズキヤンセルが付いているとのこと。

廣津留 珍しいことなんですか？

——他にはない形式みたいですね。開放型でワイヤレス、というのは過去に同社でノイズキャンナシの製品が出てたぐらいだとか。

廣津留 このクッション、締め付けがないですよ。装着した時も、圧迫感が無い。

——密閉型はそこがギョツとしてないんだな一方で、開放型にしていることでその必要がなく、側圧が軽いことがこのヘッドホンの特長ようです。

ノイズキャンセリングをはじめ 豊富な機能に驚き

——では、次の曲でノイズキャンセリング機能も試してみましょう。

廣津留 アストル・ピアソラの「ラ・カモーラ」から「カモーラⅢ」。この試聴室で聴くには、どのモードがいいでしょう？

——大きな騒音もないですし、ホーム・モード聴いてみましょうか。

試聴中

廣津留



本誌試聴室前の路上にて、ノイズキャンセリングの効果を検証。人通りが多く、街中にはBGMが流れているが、それを気にさせないクオリティだ

実際にノイズキャンセリングを使っていると、本当に人の声はちゃんと普通に聞こえてくるので、安心感がありますね。OFFも合わせて3段階あるんで、一番自分の気分にあったものを選べるし。——どんな場所で活用したいですか？

廣津留 昨日も飛行機での移動中にノイズキャンセリングのバムをしっかりと聴いたんですけど、普段は意外とそういう時間がないんです。何かしら、作業しながら聴いてる。だから、家でこそホーム・モードにして、ちゃ

廣津留 ノイズキャンセリング機能をオンにするには、どうすれば。

——右側についているボタンを押すと、作動するみたいですね。しかも、お家用の「ホーム・モード」と、飛行機など周囲の音が大きい環境にいる時用の「エアプレーン・モード」が選べるようです。後者になると、あのゴツッという音は消えるけど、アナウンスや添乗員さんの声など高い帯域の音は自然に聞こえてきます。

廣津留 そうなんですか！昨日、ニューヨークから帰ってきたところだったので、フライト中に試してみたかったです(笑)。

——それでは1曲目行ってみましょう。今日は、アマゾンミュージックから選曲して、Bluetooth接続で試聴していきます。

廣津留 折角なので、まずは自分の曲がいいですかね。アルバム『HISTORIES』から「前奏曲とアレグロ(G・プニャーニの形式による)」をお願いします。

試聴中

——実際に聴いてみて、いかがでしたか？

廣津留 このアルバムはレコーディングがホールだったというもあるんです

んと聴きたいと思いました。ちょっと外に出てノイズキャンセリングを試してみませんか？

——いいですね。行ってみましょう。

本誌社屋前で

ノイズキャンセリングを使用中

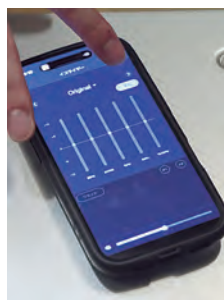
廣津留 凄い！当然ながら、さっきの部屋に比べると人通りがあったり、街のスピーカーからBGMが流れていたりする分いろんな音が入り混じってますけど、気にならなくなっちゃった。お散歩の時にも、いいかもしれないですね。

——あとは、オーディオテクニカの専用アプリ「Connect」を使うとイコライザーを含めさらに色んなことができるみたいです。

廣津留 じゃあ、aikooの「キラキラ」で試してみてもいいですか？

試聴中

廣津留 イコライザーはけっこう変化しますね。色んなプリセット設定があるし、



オーディオテクニカが提供している専用アプリでは、基本的な機能に加え、イコライザーや詳細な音量調整も可能。サウンドスケープを選べば、高音質の環境音を流すこともできる(写真は開発中の画面)

けど、すごく音場が広く聴こえました。開放型ということもあって、密閉型の閉じこもりがちなニュアンスではなく、凄く余裕がありますね。

——本機で聴くご自身のプレイの印象は、どうでしょう。

廣津留 この曲、プレイヤーとしてはかなりしっかりと弾くタイプの楽曲なんですけど、そういった威圧感を音に乗せ過ぎていないように思いました。抜け感が色んな方向に飛んでいるので、そう感じるのかな。あとは、やっぱり締め付けがないのが良いのかも。本体自体も、とても軽いですよね。

——長時間付けていても、疲れることはなさそうですね。では、続けてもう1曲。

廣津留 今日の午前中、私が受け持っている学生たちにも聴いてもらった曲



ノイズキャンセリング機能をオンにする際には、本体後部にあるボタンで操作。L側に電源とボリュームボタン、R側にはノイズキャンセリングと音漏れ抑制モードを兼ねたボタンがある

設定を自分でカスタマイズできるのも嬉しいですね。あれ、このサウンドスケープというのとは？

——焚き火の音とか波の音とか、環境の音を再生できるみたいですね。

廣津留 (試聴して)うわ、凄い！こういう環境音の動画とか音源って最近多いと思うんですけど、これはレベルが違いますね。パン振りもされているし、しっかり作りこまれている。

——オーディオテクニカのマイクを使って、本当に録りに行かれたみたいですよ。

廣津留 色んなケースを考えて作られているんですね。目を瞑って聴くと、広い空間の中に自分がある感じがしました。そのくらいリアル。このヘッドホン、音的にも物理的にも、ゆつたりと聴きたい時に最適だと思います。

